

第4回 移動等円滑化評価会議北陸信越分科会

- 日時： 令和4年7月15日（金） 13:30 ~ 15:40
- 場所： ホテルメトロポリタン長野 3階「浅間」（オンライン併用）
- 議題： (1) ホテルメトロポリタン長野のご案内～館内バリアフリーについて～
 (2) 移動等円滑化促進方針（マスタープラン）・基本構想について
 (3) 列車降車時に視覚障害者が鉄道無人駅ホームを安全に移動するために必要な配慮について
 (4) 北陸信越管内におけるバリアフリー施策の取組状況等について
- ・長野市ユニバーサルタウンマップ製作プロジェクト・活動履歴
 - ・新潟空港構内のバリアフリー整備について
 - ・国土交通省における建築物バリアフリー化の取組み
 - ・北陸地方整備局・北陸信越運輸局のバリアフリー教室等の取組みについて
 - ・旅客施設等のバリアフリー化の現状について



委員

NPO法人まちづくり学校理事	中村 美香	新潟県立大学名誉教授	島崎 敬子
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会地域福祉課長	中原 敦子	長野工業高等専門学校工学科教授	藤澤 義範
富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授	猪井 博登	富山国際学園富山短期大学幼児教育学科准教授	明柴 聰史
NPO法人スペースBe 理事長	山崎 勉	NPO法人ヒューマンネットながの理事	川崎 昭仁
(一社)富山県手をつなぐ育成会理事	細川 瑞子	石川県リハビリテーションセンター次長	寺田 佳世
社会福祉法人石川県視覚障害者協会理事長	米島 芳文	(一社)新潟県聴覚障害者協会副会長	柳 博明
新潟県精神障害者団体連合会代表代理	本田 美恵子	(一財)新潟県老人クラブ連合会会長	玉木 正方
NPO法人D-SHIP S32理事長	上原 大祐		

東日本旅客鉄道株式会社新潟支社 総務部サービス品質改革室長
 北陸信越鉄道協会 専務理事
 北陸信越バス協会 専務理事
 新潟空港ビルディング株式会社 常務取締役総務部長

西日本旅客鉄道株式会社金沢支社 地域共生室企画課課長
 北陸信越旅客船協会 常務理事
 北陸信越地区タクシー協議会 専務理事

新潟県交通政策局交通政策課長
 富山県交通政策局 広域交通・新幹線政策課長
 新潟市都市政策部都市交通政策課長
 北陸信越運輸局交通政策部バリアフリー推進課長

長野県企画振興部交通政策課長
 石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課長
 北陸地方整備局企画部広域計画課長

【主な発言要旨】

- ホテルのフロント対応は筆談であったが、できればスタッフの皆さんが手話を使って伝えていただけると、非常にありがたい。
- 音が聞こえない者としては、災害時においてエレベーターが止まった際に、非常ボタンで通話する手段のほかにテレビモニターがあると安心だと思った。室内においては、ドアのノック音が聞こえないので、ピンポンと押したら部屋の中が光るフラッシュがあるとありがたい。
- 火事の際の避難の方向について、避難経路の案内とそこに字幕や文字をつけて「3階が今火事です、こちらに逃げてください」といった情報があると、もっと安心できるのではないかと思った。
- 目が不自由なので、フロントでの受付の際には、自分の住所を伝える時に名刺を渡して代筆をしていただいている。また、名刺に点字を併記することで間違っただけのものを出さないように工夫はしているが、点字がない名刺の場合は間違っただけのケースもあるので、提示された内容がわかるように声を出して読み合わせて、間違いがないことを確認していただければと思う。
- ホテル代金の支払い決済をクレジットカードで行う際に、署名なのか暗証番号なのかという適切な問いかけをしていただいたので、暗証番号を入力することができた。端末の場所がある位置についても、例えば「右手の20cmほど左にあります」などと声がけしていただくとありがたい。
- このホテルは、各部屋の部屋番号に点字シールが付けられており、親切だと思った。室内においては、フロントの電話番号、テレビのリモコンの電源スイッチ、空調の電源ボタン、浴室でいうとシャンプーの印やバスタオル、ゴミ箱の場所等がわかるとよいと思った。
- 夜の無人駅は暗く、周囲が暗いと聴覚障害者はコミュニケーションができない。駅員がいないことで不安になる方も多いと思うので、連絡方法のひとつとして、対話ができるテレビ電話等を置いてはどうか。それから、JRで手話の講座が始まっていると聞いているので、運転士の方が手話を使って伝えていただくと、聞こえない方への対応として非常にありがたい。
- 無人駅での車いすの利用について、駅に相談すると駅員の方を派遣していただけて乗り降りを手伝っていただけたことがあった。
- 無人駅では、電話により駅員のサポートを受けられることにより、視覚障害の方が支えられている事情に感謝を申し上げたい。一方で、それに代わるものとして列車乗務員の負担をより少ない形でのサポートを考えなければいけない。鉄道事業者だけではなく、国全体としてこのような地方の声をくみ取っていただける機会があると大変ありがたいと思っている。
- 空港のバリアフリーの取組みの一環として、視覚障害者用誘導ブロックを設置したことについて、障害のある方にいかにその情報を伝えていくかが大事だと思う。例えば、航空会社で目の不自由な方に情報提供が行われているように、空港としてもホームページを活用しながら取り組んだ内容を周知いただくことを検討してほしい。